企画事例レポート

ADDOSHIN+PLUS

Vol.058

«JTエグゼクティブトーク企画»

すべての人にとって生きやすい社会の実現に向けた企業姿勢を発信

2007年から**年に1度、継続的に行っているJTエグゼクティブトーク対談企画**。毎年、出演者を変更しながら、日本たばこ産業（JT）様の商品ではなく会社の理念や、時勢の中での立ち位置について語っていただいています。**2019年のテーマは「多様性」。JT・白男川北海道支社長と、LGBTなどの多様性を認め合うイベント「さっぽろレインボープライド」実行委員会・満島てる子さんとの対談を、弊社・取締役営業局長の土屋が進行役を務めて実施**。JTが抱える「吸う人・吸わない人」「紙巻たばこ・加熱式たばこ」などの多様性と、LGBTの方々が抱える「性の多様性」について理解を深め、さまざまな嗜好・価値観の人々が共存できる社会の実現に向けて語り合いました。

JTは、古くからLGBTの方々への理解を含めた、社内外でのダイバーシティ(多様化)の推進を積極的に行っています。LGBTに関する取り組みが評価される「PRIDE指標2019」においても、初年度から4年連続で最高位の『ゴールド』を受賞しています。2017年からは日本最大級のLGBTイベント「東京レインボープライド」に協賛しており、**2019年からは北海道でもLGBTパレード「レインボーマーチ札幌」に協賛**しています。JTと「さっぽろレインボープライド」の接点は、この「レインボーマーチ札幌」です。

対談企画の紙面を見た**読者からは、「多様性を認め合うことを、企業が推進しているのは心強い」「こういった取り組みを続けて行くことで、将来的には多様性を認め合える寛容な社会になっていくだろうと思うので、是非続けて欲しい」などの声が寄せられました**。ダイバーシティ推進を通して、すべての人にとって生きやすい社会の実現を目指すJTの企業姿勢を全道へ発信させていただくことができました。

（2019年12月7日 朝刊 全道版 全15段）

（本社営業局 後藤 祐也）

POINT!

＊トップによる**対談などを通して、企業姿勢を北海道中へ広く発信することが可能**です。